

3・21さよなら原発全国集会

死の灰を埋めると10万年住めない

再稼働反対・原発ゼロ！

3月21日（木・祝）

代々木公園 13：30～14：50

集合 12：30分（公園内歩道橋下）

小集会（12：40～13：10）

労働運動委員会ニュース

No. 222

2019年3月14日

発行責任者 宮川 敏一
東京都千代田区神田神保町 2-10 三辰工業ビル 3階
TEL (03) 6380-9960 FAX (03) 6380-9963
E-mail miyakawa@sinsyakai.or.jp



19春闘ヤマ場 JC集中回答 トヨタベア非表示 ベア軒並み昨年比減

N関労時限スト決行！

3月13日、時、N関労東は、NTT千葉支社前（写真）で、ストライキ確認集会を開いた。

「19春闘勝利！」

大幅賃上げで、暮らしと経済を再生しよう！」

とスローガンの下、当該組合員と支援労組、支援者200人が結集した。

集会は、N関労東執行委員長の奥山さんの力強い挨拶で始まった。

来賓は、全労協中岡事務局長、新社会党千葉県本部嶋川書記長をはじめ10人から連帯挨拶があった。集会の最後は、秋島N関労千葉支部委員長から力強い決意表明があった。参加者全員でNTT千葉支社に向かいシュプレヒコールをぶつけた。

2019年春闘回答結果 3月14日現在

単組	ペア	昨年実績	定期昇給	一時金
トヨタ	非公開	非公開	定昇維持	夏120万円
日産自動車	3,000円	3,000円	定昇維持	5.7ヵ月
ホンダ	1,400円	1,700円	定昇維持	6.3ヵ月
日立製作所	1,000円	1,500円	定昇維持	6.3ヵ月
パナソニック	1,000円	1,500円	定昇維持	業績連動
三菱電機	1,000円	1,500円	定昇維持	5.89ヵ月
東京地下鉄	0円	0円	定昇維持	4ヵ月+α+一時金
東急	0円	1,800円	定昇維持	5.5ヵ月+α
JR東海	1,300円	1,300円	定昇維持	
JR西日本	1,000円	1,200円	定昇維持	
NTT東日本	2,000円	1,800円	定昇維持	4.95ヵ月
三菱重工	1,500円	1,500円	定昇維持	4ヵ月+5ヵ月
住友電工	1,000円	1,500円	定昇維持	5.0ヵ月
日立造船	1,500円	1,500円	定昇維持	17万+4ヵ月

3月13日、19年春闘の集中回答日を迎えた。自動車・電機などJC大手主要労働組合で回答があった。安倍首相の茶番劇「経団連会長に賃金引き上げをお願いしたい」もあったが、経営側は袖にした。

トヨタは、定昇含む月例賃金表示で、2年連続でベア公開をしない。自動車、電機は、軒並み昨年を下回るベア表示になった。

電機は産別統一闘争だが、自動車は個別交渉に移った。基本給に組み込まない一時金・手当による年間ベースに固められてきた。

春闘のトップバッターJCの賃金回答が「抑制バネ」にしてはいけない。

第2次安倍政権発足後、実質賃金の低下は加速している。12年当時の生活水準に戻すには、19春闘で大幅賃上げ、7・16%（2万3千円）まで引き上げないと回復しない。

必要な財源は18・36%（内部留保の2・46%）この1年間で40兆円を膨らませた資本のふところに余裕はある。賃上げをすれば経済効果は18・77%、税収も1・38%見込める。

JAL不当解雇NO! JALは解決を決断せよ!



1日も早い解雇争議の決着を訴え、原告団・当該組合・支援者が闘いの意思表示

3月9日17時、原告団・当該組合・支援者250人が羽田空港に結集した。スタンディングプラカードで利用者に訴えた。昨年5月から始まった「特別協議」は、会社の不誠実で前進が見られなかった。1日も早い解雇争議の決着を訴えターミナル前で闘う決意を一つにした。

JALは解決に背を向ける

解雇争議解決に向けて、昨年5月から労資による「特別協議」が続けられた。その間、本社前抗議集会、駅頭宣伝等の解雇撤回行動が控えられた。その間、「JAL闘争は終わったのか?」などの声も聞かれた。

「労働組合つぶし」の大弾圧を許さない 緊急大カンパ・署名の要請! 関生支援

「ストライキが犯罪か! 労働組合つぶしの大弾圧を許さない! 3・10集会」が、3月10日、大阪市立西区民センターで開催され、労働組合・市民団体・個人など520人が結集、会場は参加者であふれた。

この集会は、昨年からの関生支部への権力弾圧に対して、闘う労働組合や市民団体が結集して発足した「労働組合つぶしの大弾圧を許さない実行委員会」が主催した。

この実行委員会は、昨年からは集会や学習会を企画・実践し、本年元旦には「大

「特別協議」による進展は見られず、諸行動だけが見送られ、闘争の後退が危惧された。しかし、原告団、当該労組の強い「争議解決」の思いから、2月28日駅頭宣伝を再開した。そして3月9日の羽田空港でのスタンディングを迎えた。

阪府警前の集会・デモを展開するなど、多くの成果をあげた。この運動が、関西各地へも広がり、実行委員会・京滋が確立。さらに、東京へも広がっている。

今、関西生コン支部は億単位の経済的攻撃がかけられている。逮捕者70人の保釈金は平均300万円で総額が2億円にのぼる。逮捕され、失業する労働組合員への給与保障も1億円を超える。さらに長期の裁判費用を考えると途方もない金額になる。



関西生コン支部へのカンパ支援が求められている。また、警察権力の声明を垂れ流しにする報道は、関西生コン支部を孤立化させている。

職場改善、賃金引き上げを訴えるチラシ配布が「業務威力妨害」「恐喝未遂」の嫌疑で逮捕。

労働者の連帯で、カンパと署名が組合員を支える。支援を広げよう。